

令和元年度小田原市市民ホール整備推進委員会 管理運営専門分科会
第1回会議 議事録

日時：令和元年8月23日（金）10:00～11:00

場所：小田原市役所 3階 全員児協議会室

出席者

[委員]

	氏名	分野	所属等
分科会長	梶 奈生子	劇場管理・運営	(一社)東京文化会館 副会長 事業企画課長
委員	外郎 藤右衛門	地域経済・観光	(一社)小田原市観光協会 副会長
委員	白井 英治	舞台芸術	東邦音楽大学 特任教授
委員	鈴木 伸幸	地域情報発信	F M小田原株式会社 代表取締役
委員	関口 秀夫	市民文化活動	小田原市文化連盟 会長

[整備推進アドバイザー]

氏名	分野	所属等
城所 茂	劇場・舞台設備	株式会社東京舞台照明 市民会館チーフ
牛田 徹也	舞台設備	F M小田原株式会社 映像企画部部長 演出

[事務局]

所属	役職	氏名
文化部	部長	安藤 圭太
文化部	副部長	石川 幸彦
文化部文化政策課	課長	和田 芳廣
文化部文化政策課	市民ホール担当課長	大石 時雄
文化部文化政策課	芸術文化創造係長	鈴木 恵美子
文化部文化政策課	芸術文化創造係長	黄金井 進一
文化部文化政策課	市民ホール整備係長	川久保 純一
文化部文化政策課	市民ホール整備係長	神谷 俊介
文化部文化政策課	市民ホール整備係担当監	諸星 正美
文化部文化政策課	市民ホール整備係主査	渡邊 史朗
文化部文化政策課	市民ホール整備係主査	鶴井 雅也

業者名	分野	氏名
明豊ファシリティワークス株式会社	コンストラクションマネジメント業務	遠藤・和田

[傍聴者] 0名

1. 開会

【文化政策課長】

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和元年度小田原市市民ホール整備推進委員会管理運営専門分科会第1回会議を開催いたします。

私は、本日の進行を務めさせていただきます文化政策課課長の和田でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、管理運営専門分科会の委員の皆様に加え、アドバイザーとして、東京舞台照明の城所様、FM小田原の牛田様にご出席いただいております。牛田様におかれましては、最初の会議となりますので、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

【牛田アドバイザー】

FM小田原の牛田と申します。30年ほど前になりますがソールドアウトという会社でコンサートや舞台、テレビ番組等に携わりました。2000年からフリーになりジャニーズのコンサートツアーを日本全国、映像演出で廻りました。舞台の使い方というところではアイデアを出せるかと思えます。よろしくお願いいたします。

【文化政策課長】

ありがとうございました。それでは、はじめに、「次第 1 開会」にあたりまして、小田原市文化政策課大石市民ホール担当課長よりご挨拶申し上げます。

【市民ホール担当課長】

おはようございます。整備推進委員の皆様には、日頃から市民ホールの整備をはじめ、本市の文化行政の推進に多大なる御理解、御尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私、6月28日にいわき市から小田原市に引っ越して来ましたが、その日から7月25日まで、28日間ずっと雨もしくは曇りで、まるで小田原に歓迎されていないような気分が続いていましたが、にもかかわらず市民ホールの建設工事は順調に進んでおりまして、今月の11日から18日までの8日間工事現場で汗を流して頑張る人たちもお盆休みをいただいたところでございます。

7月1日に文化政策課市民ホール担当課長に就任いたしました。整備推進委員から市の職員となったわけですが、これまで同様、与えられた持ち場で最善を尽くしたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

文化政策課では、現在市民ホールの設置条例及び条例規則等の作成、使用料金の設定などを進めているところでございます。今後、備品の選定や開館記念事業など企画等オープンに向けて必要な作業を進めて参りたいと思っておりますことから、本日は本年度第1回の管理

運営専門分科会を開催し、委員の皆さまからの御意見を賜りたいと思っています。

今後も、市民ホールの整備に向けて、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、本日の管理運営専門分科会でも、忌憚のない御意見をいただきますようお願いをして、私からの挨拶とさせていただきます。

【文化政策課長】

ありがとうございました。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料につきましては、お手元の次第にある「配布資料一覧」のとおりとなっております。資料4につきましては何枚かに渡っております。不足等がございましたら、お申し出ください。

それでは、「次第 2 議題」に移りたいと思います。

これよりの進行は、分科会長の梶様をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

2. 議題

【梶分科会長】

それでは、ここから私が議事を進行させていただきます。

まず、本日の議題に移る前に、この会議の公開、非公開について、管理運営専門分科会として決定する必要があるとのことですので、事務局から説明をお願いします。

【文化政策課長】

資料1「会議の公開について」をご覧ください。会議の公開につきましては、「小田原市情報公開条例」及び「小田原市審議会等の会議の公開に関する要項」に基づき、原則公開することとなっておりますが、非公開情報を扱う場合などについてはこの限りではなく、会議を開催する前に公開の可否を決定することとなっております。

本日の議題のうち、(3)備品につきましては、今後入札等発注に係る事務に影響があることから、また、(4)開館記念事業につきましては、令和元年9月小田原市議会定例会への提出案件であることから、小田原市情報公開条例第24条第1項第3号に基づき、非公開とさせていただきますと存じます。

説明は以上となります。よろしくお願ひ致します。

【梶分科会長】

ありがとうございます。議題(1)及び(2)を公開で行い、その後、議題(3)及び(4)について、非公開で行います。

それでは、議題の(1)市民ホール開館までのスケジュールについてから始めます。まず、

内容について事務局から説明をお願いします。

【文化政策課長】

資料2「小田原市民ホール開館準備業務スケジュール」をご覧ください。

番号1「整備推進委員会、管理運営専門分科会、建設計画専門分科会」についてです。こちらにつきましては、8月の「委員会等②」が本日の分科会でございます。今後、11月に1回、来年3月に1回開催を予定してございます。また、翌年度以降は、必要に応じて委員会、分科会を開催させていただく予定です。

次に、番号2「開館記念事業」についてです。開館記念事業は、10月に実行委員会を立ち上げ、開館に向けた検討を行っていきたいと考えております。つきましては、市議会9月定例会にこれに関連した予算を計上する予定でございます。

次に、番号3「備品整備」についてです。まず、備品整備の中の上段、緞帳でございます。緞帳についての詳細は、この後、(3)備品についてで御報告させていただきますが、6月10日から緞帳のデザインとなる原画を一般公募しており、このたび選考が終わり、緞帳デザイン原画の最優秀作品1点が決定いたしました。

今後は、緞帳の製作に向けてプロポーザルを実施し、緞帳製作業者を選定し、緞帳の製作に入っていく予定でございます。

次に、中段のピアノについてです。こちらについても、この後、(3)備品についてでの詳細は御報告させていただきますので、今後のスケジュールを簡単に御説明いたします。新規で購入するピアノについては、ご覧のスケジュールのとおり進めさせていただきたいと考えております。また、オーバーホールを行う現存のピアノは、令和3年4月にピアノを搬出し、オーバーホールを進めていく予定であります。

最後に、最下段、その他備品の検討についてです。市民ホールのオープンに向けて必要となる、器具、付帯設備等、様々な備品については、現在、必要なものについて精査している状況でございます。予定としては、令和2年度内に必要な備品の詳細をとりまとめるとともに発注を行い、施設が竣工する令和3年4月から納品する予定であります。

市民ホールの開館までのスケジュールにつきましては、以上です。

【梶分科会長】

ありがとうございます。ただいまの説明に対して、皆様いかがですか。ご意見、ご質問等はございますか。

【委員全員】

意見なし

【梶分科会長】

特にご意見等無いようですので、次の議題に移りたいと思います。議題の（２）使用料と減免について、説明をお願いします。

【文化政策課長】

資料３「使用料と減免について」をご覧ください。「１ 使用料について」です。市民ホールの使用料については、第２次行政改革実行計画の受益者負担の在り方に関する基本方針（以下、基本方針）に基づき、検討を行いました。

検討に当たっては、基本方針に基づき算定した結果、周辺自治体の類似施設より著しく高額となり、利用率の低下を招くおそれがある場合は、適切な使用料となるよう調整できることが基本方針に謳われています。さらには、市民会館から急激な利用者負担増とならないかを考慮いたしました。

これらを踏まえ、大小ホールは、類似施設の平均と市民会館の使用料を考慮して、算定結果から圧縮した基本料金としたいと考えております。その他は、基本方針の算定結果どおりとさせていただきたいと思います。

また、市民会館と同様、入場料等を徴収する場合や商品の展示即売をする場合は、使用料を加算することといたします。一方、大ホールは、練習など利用目的に応じた負担軽減制度を新設したいと考えています。ただし、減免を適用する場合は、負担軽減制度を適用しない、と考えております。

次に、「２ 減免制度について」です。基本方針において、減額・免除する場合の判断基準を定めています。一つは市の行政活動に関わる場合、国又は地方公共団体の公用又は公共用の場合、その他には子ども、高齢者、障がい者への配慮や、文化振興が目的の場合も判断基準として規定がございます。

この基準を踏まえ、市民会館と同様、市民ホールにおいても減免・免除を適用したいと考えております。ただし、現在の市民会館では、「市内の文化団体で、市が財政援助をしている文化事業」を減免対象としておりますが、基本方針の判断基準を参考に、市民ホールでは、この減免対象を見直すことを考えています。

使用料と減免につきましては、以上です。

【梶分科会長】

ありがとうございます。ただいまの説明に対して、皆様いかがでしょうか。ご意見や、ご質問等ありますでしょうか。

【白井委員】

ご説明については問題ないですが、例えば小田原市にある団体に所属している人が５０％以上参加している場合について５％ほど免除される等検討される予定はあるのでし

ようか。自治体によっては減免対象や、予約期間が早く設定されていたりするところもあるかと思いますが、そのような考慮は検討されていますか。

【梶分科会長】

事務局から検討状況についてご説明をお願いいたします。

【文化政策課長】

今回の分科会におきましては、現時点の使用料の在り方や減免制度についての考え方についてご説明をさせていただきました。今後、開館の令和3年9月まで2年ほどありますが、制度の詳細を決めていくとともに貸館のルール等の運用を新たに決定していく事になります。本日の議題としてそこまで回答ができません。誠に申し訳ないですが、引き続き検討にご協力いただきたいと思います。

【白井委員】

ありがとうございます。

【梶分科会長】

ありがとうございます。その他にご意見、ご質問ありますか。

【関口委員】

事務局からのご説明で大体は理解しました。文化活動の範囲や文化連盟、個人的な部分もありますが、ともかく、一般の市民は市民ホールについて非常に良識的な理解を持っていると考えています。できれば、使用料は安い方が良いなど意見もありますが、執行部に配慮していただいて線引きをしていただかないと現段階では具体的な質問は難しいと考えます。

【梶分科会長】

ありがとうございます。他にご意見ございますか。

【鈴木委員】

いつぐらいに決定されるスケジュールでいますか。

【梶分科会長】

事務局よりお願いします。

【文化政策課長】

今後のスケジュールですが、減免をするかしないかと、使用料については条例で規定をす

るものになりますので、議会に議案として提出を行い、議決をいただく必要があるものになります。今後、議会に対して使用料については報告を行います。さらに、条例議案はパブリックコメントの対象になりますので、パブリックコメントを行います。パブリックコメントの意見等を踏まえたうえで、最終的な条例議案を作成して議会に提出を行い、議決をいただくこととなります。

しかし、使用料についてはパブリックコメントの対象にはなりません。また減免の適用内容についても規則で定めるものになりますのでパブリックコメントの対象にはなりません。したがって、スケジュールはということですが、早々に議会に報告をさせていただき、パブリックコメントを行って、その後条例議案を議会に提出して議決をいただこうと考えています。流動的なところではございますが、ご説明としては以上です。

【鈴木委員】

今までの委員会についてもそうですが、減免についてとランニングコストの問題についてリンクしていない印象があります。なぜ減免をするのかとランニングコストについて考慮して進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【外郎委員】

鈴木委員のご意見と同じですが、使用料と減免だけで話を詰めていっても、投資そのものは国の補助金で作っているのだから良いのかと思います。運営に関わる様々な金額が精査出来ていないと思います。その上で使用料を見ていかないと、市民の血税だけがつぎ込まれて最終的に市の財政が破綻したら元も子も無くなってしまいますので、その辺をどうするかだと思います。特に、近隣の施設との類似についても大切ですし、利用料金が安い方が市民にとって有難いことではあります。いつ頃、金額について精査できますか。

【文化政策課長】

早ければ9月の定例会がございまして、ランニングコストを含め金額について報告していきたいと考えています。

【外郎委員】

分かりました、ありがとうございます。

【梶分科会長】

ありがとうございます。他にご意見はございますか。

ただいま、ランニングコストとリンクしているのかや、スケジュール感についてご意見をいただきました。次回の整備推進委員会で報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、次の議題に移りたいと思います。ここからは、非公開をお願いします。